



農業発信拠点「七ツ塚ファーマーズセンター」

市の主な取り組み

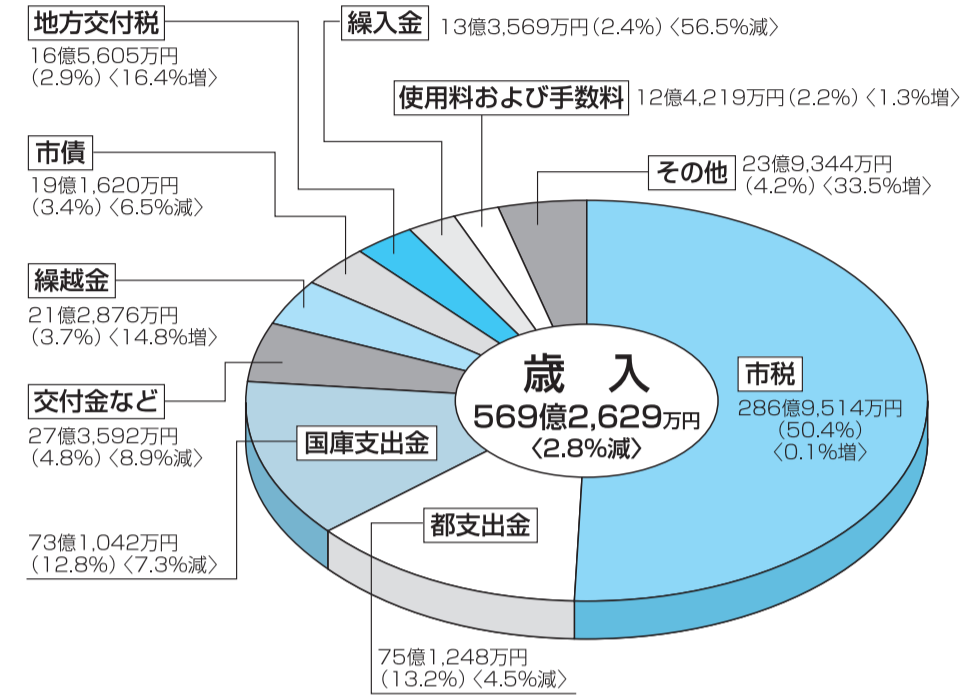
平成24年度は「覚悟を、そして希望を ～いつか思いは叶う～」をテーマに事業が実施されました。

① 参画と協働のまち …約17億5千万円	▶市立病院の経営健全化 ▶住民基本台帳システム再構築、公共施設の耐震化工事、災害等に備えた積み立て など
② 子どもが輝くまち …約37億1千万円	▶保育園待機児解消に向けた民間保育園の建て替え支援 ▶きめ細かな支援体制の拡充～(仮称)発達支援センターの建設工事着工 ▶小・中学校全校の冷暖房設備設置完了、小・中学校3校のトイレ改修、中学校リソースルームの新設 ▶特別支援学級の開設(平山中) など
③ 健やかでともに支えあうまち …約59億6千万円	▶地域密着型サービス事業所の整備、高齢者見守り支援ネットワーク事業の拡充 ▶予防接種や健(検)診による病気の予防と早期発見(任意予防接種助成や各種がん検診受診率向上) ▶在宅療養高齢者支援事業の新設(支援窓口、一時入院支援) など
④ 自然と調和した環境に優しいまち …約10億3千万円	▶緑地保全の推進(程久保緑地の購入など) ▶プラスチック類再資源化(平成24年度・25年度) など
⑤ 地域の魅力を活かした活気あるまち …約40億3千万円	▶ものづくりのまち「工業都市・日野」の再生(工業振興基本構想の実現による市内工業の振興・市内中小企業の工業技術みえる化推進事業の実施) ▶東光寺上地区での七ツ塚ファーマーズセンターの開設(日野の農業発信拠点の整備) ▶大坂上通り歩道拡幅整備工事の実施 ▶主要幹線道路沿いの建築物耐震化の実施 など

決算額

会計区分	歳入	対前年度比	歳出	対前年度比
一般会計	569億2,629万円	2.8%減	549億2,543万円	2.7%減
特別会計	471億8,669万円	0.1%増	471億2,798万円	0.6%増
国民健康保険	171億4,159万円	3.7%増	169億933万円	4.1%増
土地区画整理事業	37億5,217万円	1.1%増	36億3,764万円	2.1%増
下水道事業	47億7,207万円	27.2%減	45億5,371万円	29.3%減
介護保険	103億3,529万円	7.2%増	103億1,386万円	7.2%増
後期高齢者医療	32億1,624万円	10.4%増	31億9,804万円	10.4%増
市立病院事業	79億6,933万円	2.5%増	85億1,540万円	5.5%増
合計	1,041億1,298万円	1.5%減	1,020億5,341万円	1.2%減

平成24年度 決算の



一般会計決算

おいて、委員長報告、質疑が行われた後、6会計とも認定されました。

国民健康保険…全会一致で認定
 ▼国保税滞納分の相談と対応、無保険者が加入する仕組みについて問う。
 ▼柔道整復施術療養費の委託料を安く抑えられた理由を問う。
 ▼土地区画整理事業…賛成多数で認定
 ▼豊田南区画整理事業の進展状況と全体の進捗率について問う。
 ▼区画整理はまちづくりに必要なが、今後縮小や取り止めも視野に入れた見直しも考えるべき。
下水道事業…全会一致で認定
 ▼老朽化した下水道管の状況と、来年から始まる各計画の見直しについて問う。

市立病院事業…全会一致で認定
 ▼収益を上げるための市のバックアップ体制について問う。

介護保険…全会一致で認定
 ▼第5期介護計画による施設建設計画状況を問う。
 ▼さわやか健康体操の効果等の検証について問う。
 ▼認知症デイサービス利用者で、限度額を超えて他のサービスを受けられない人への対応を問う。
後期高齢者医療…全会一致で認定
 ▼質疑・意見はありませんでした。

市立病院事業…全会一致で認定
 ▼収益を上げるための市のバックアップ体制について問う。

賛成

平成24年度は、自然災害に備えた公共のインフラの整備、公共施設の耐震化・老朽化対策が喫緊の課題として対応を求められ、市民の命を守る具体的な実行情が問われる年でした。そのような中、当市では市制施行50周年と東京多摩国体を翌年に控え、希望に満ちた方向へ変えていく「元年」であったとも言えるのではないのでしょうか。

厳しい財政状況ですが、徹底的な財政改革を全力で推進すること、安全・安心を取り組みを評価します。

心づもり、災害に負けない日野市の構築を強く要望して、決算認定の意見とします。主要事業を振り返りながら指摘します。高齢者の在宅療養支援事業や認知症グループホームの整備が進められ、来年4月にオープンを迎えます。多くの市民にとって待望の施設です。全小・中学校の普通教室・特別教室等の冷房化が完了したことを大いに評価します。学校のトイレ改修工事も進みました。衛生的で明るく快適だと評価されています。節水・節電も検討してください。

今後の観点からも、全学校施設の早期改修を要望します。七ツ塚ファーマーズセンターが開業しました。農産物の販売とコミュニケーションの場として広い活用を要望します。防災・減災への取り組みとして、市役所と市営住宅の耐震診断、公共インフラ整備計画立ち上げ等が行われました。順次着手することを要望します。自主防災組織育成事業で地域力向上が図られました。住民への正確・迅速な災害情報伝達にラジオの導入も検討してください。

希望に満ちた方向へ変えていく「元年」

反対

当年度に削減された255項目の事業の中には、第2のセーフティネットの役割を果たす事業や、将来の医療費負担を少なくする役割を持つ事業など、切つてはならない事業が多々含まれています。こうした施策の削減は、当面の財政負担を軽くしても「住民の福祉の向上を図る」という自治体本来の役割を投げ捨て、かえって将来の負担を大きくしかねません。この決算の認定に反対する理由はここにあり

市民参画のまちづくりの基本に立ち返れ

存続を強く求めます。都の防災計画に丘陵地の宅地災害の視点がなく、市がきちんとした基礎調査を行う必要があります。ダンピングや悪質業者を排除してください。市有地の

市内業者の育成を図る公契約条例の早期制定を求めます。がん検診が有料化され、わずかに200円の自己負担にも関わらず1千人を超す受診者減が起きました。無料への復帰を求めます。

除草や公園整備の予算が削減され、市民からの苦情が頻繁です。発生の主義の対処ではなく、計画的な維持管理への転換を求めます。経済的な格差は、特に教育において貧困の連鎖につながります。正確な現状把握と適切な対策を講ずることを強く要望します。ごみ処理広域化の問題や各種審議会への公募市民の位置づけで、市長の発言が大きく後退しています。まちづくりの主役は市民です。市民参画の基本に立ち返ることを強く求めます。

日本共産党

平成24年度一般会計決算の認定	賛成	賛成	賛成	賛成	反対	賛成
民主市民ネットワーク	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
自民クラブ	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
公明党	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
日本共産党	賛成	賛成	賛成	賛成	反対	賛成
無党派	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成

上表は、議案採決にあたっての各党派の態度表明です。なお、無党派議員(1人)からも意見表明がありました。